

平成18年度第1回愛知県周産期医療協議会

議事要約

日時：平成18年6月9日（金） 午後3時から午後5時

場所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2

委員

出席者：安藤委員、石川委員、石田委員、一木委員、岩田委員、岩本委員、岡田(節)委員、岡田(真)委員、可世木委員、小山委員(代理)、榊原委員、柴田委員、鈴木(悟)委員、鈴木(千)委員、寺澤委員、成田委員、二村委員、松澤委員、森川委員、山崎(俊)委員、山崎(嘉)委員、山田委員(代理)、吉田委員

欠席者：岡田(純)委員、高橋委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課長、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹(母子保健グループ)、名古屋市健康福祉局健康部主幹(医務指導)、名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長、名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

欠席者：

司会者：名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議長：安藤会長

1 吉田技監あいさつ

2 新任委員の増加のため各委員あいさつ

3 会長・副会長選出

会長 安藤委員、副会長 成田委員

安藤会長あいさつ

成田副会長あいさつ

4 議事

(1) 平成18年度愛知県周産期医療情報システム

<メーリングリストの利用について>

- * メーリングリストが6月6日より開始されました。
- * 参加者については、資料No.1-2を参照ください。
- * 参加者はメールが届いているか、確認したいので一度返信してください。
- * 積極的にご参加ください。

<調査・研究報告書のホームページ上への開示について>

- * 了承していただければ、すべての報告書をホームページに掲載しようと考えていますが、いかがでしょうか。
- * 一部の報告書の中には、個人情報が含まれているものもあるので、再度確認して、危惧する部分は削ったほうがよいのでは。
- * 協議会の方針としては、意義のある調査・研究をしてきたので、できるだけ広く県民の皆様提供したい。
- * 基本的には掲載するという方針で、掲載前に、内容を確認して、個人情報等のそぐわない部分には、作成した先生と相談して修正してから掲載していきます。

- * 一般の方からのホームページのアクセス数が年間 8000～9000 あります。今後、より一般の方が分かりやすく利用しやすいホームページを作成する工夫をしていきましょう。
- * 4 大学の応需状況の登録をお願いしていきます。
- * 応需業況の更新はかなりされるようになってきました。協議会の出欠席のレスポンスもホームページ上でお願いします。

(2) 平成 18 年度愛知県周産期医療専門相談事業の事業計画について

- * 名称を「研修会」に変更させてください。
- * 年 1 回で各施設をお願いしてきましたが、隔年での開催も認めることはいかがでしょうか。その場合、予算は他の施設に配分し直すことにしたいと思います。
- * 4 大学も、専門相談事業に今後参加していただく方針で宜しいですか。
- * 毎年、年度末に重なるので、頻繁に回ってくると困る。2 年に 1 度だと調度いい。
- * これからは広く考えて、予算の弾力的な運用をすることで、できることが増えるのではないかと。
- * 一部の地域は合同にしてもよいのではないかと。
- * 16 病院で、年に 8 回だと妥当ではないかと。
- * 今後、4 大学を含めた 16 病院で、年に 8 病院で行います。
- * 順番は事務局で割り振ります。予算も、8 病院で割り振ります。
- * 今年度の 8 病院に関しては、希望のあった城北病院以外は事務局で相談して、通知します。
- * 割り振られた施設は、9 月までに予定を事務局まで知らせてください。
- * また、事務局では、「出生時の新生児への対応」のプログラムの対応を始めました。依頼があれば、久野先生、鬼頭先生が研修に出向きます。
- * 昨年の予算で極低出生体児用の蘇生人形を購入しました。現在 2 体あります。希望があれば貸し出しいたします。事務局までご連絡ください。

(3) 平成 18 年度愛知県周産期医療調査・研究事業の事業計画について

< 愛知県における NICU 長期入院児の現況 >

名古屋第一赤十字病院 鬼頭 修

- * 180 日以上入院した赤ちゃんが増えている現況から、問題点を考えます。

< 疾病発生状況から見た MFICU 必要病床数策定の為の基礎研究 >

名古屋第一赤十字病院 久野 尚彦 >

- * 同じ状況の患者でも、病院の空ベットによって運用が違ってくるので、疾病発生からデータを取ること
で正確な現状を理解することができます。

(4) 平成 18 年度愛知県周産期医療協議会研修事業の事業計画について

- * 名称を「特別講演・調査研究報告会」と変更をお願いします。
- * 平成 18 年 11 月 18 日(土)栄ガスビルで、平成 17 年度の調査・研究報告と講演会を開催します。
- * 調査・研究報告会
< 医療現場からの子育て支援の推進を目指した医療スタッフ向け支援ツールの開発に関する研究 >
あいち小児保健医療総合センター 山崎 嘉久
< これからの産科医療 ~ オープン・セミオープンシステム ~

患者さんの現状認識と求めている周産期医療に関する調査>

城北病院 柴田 金光 >

* 講演会

< 双胎間輸血症候群の胎内治療 >

聖隷浜松病院 村越 毅

(5) 平成 17 年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告について

< 医療現場からの子育て支援の推進を目指した医療スタッフ向け支援ツールの開発に関する研究 >

あいち小児保健医療総合センター 山崎 嘉久

* 現場で働くスタッフにホームページを見てもらうため、チラシを3万枚作りました。研修等で配っていただきたい。

* 調査・研究報告をまとめた CD-ROM を配布しました。

< これからの産科医療 ~ オープン・セミオープンシステム ~

患者さんの現状認識と求めている周産期医療に関する調査 >

城北病院 柴田 金光

* 詳細は資料 No.2 を参照してください。

* 患者さんの認識は、オープンとセミオープンとでは大きく異なっていることがわかりました。

(6) 報告事項

小児科・産科における医療資源の集約化・重点化の検討について

* 県で「小児科医師確保に係る委員会」と「産科医師確保に係る委員会」を設置し、検討を進めていきます。その内容を周産期協議会にも報告していきます。

特定不妊治療助成について

* 平成 16 年度より平成 17 年度のほうが、助成件数及び助成額が増えています。

* 特に、17 年度は 16 年度に比べて治療費が 5 万 ~ 25 万円までの低額の治療で助成を受けている人が増えています。

その他

* 既に 12 病院に提出してもらっている周産期母子医療センターの現況のデータを、今年度より 4 大学とコロニーにも参加していただき、現況のデータの報告をお願い致します。

* 愛知県総合・地域周産期母子医療センターの現況(資料 No.3-3)の数字のなか NICU 及び後方病床で不自然な点がありますので、各施設のデータをより統一していきたい。

(7) その他

* 名古屋第一赤十字病院 総合周産期母子医療センター平成 17 年度参加部門総括

* 資料 No.4 を参照してください。

* 次回開催日は 11 月 10 日で予定していましたが、学会等で委員の先生の都合が悪い為、事務局で相談のうえ、改めて通知いたします。